



岡崎市議会議員

鈴木 ひでき

「いつまでも 安全安心 いきいきと」した 岡崎のまちづくり

発行 鈴木ひでき

連絡先 〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL 0563-55-1167 FAX 0563-55-1909

まちづくり
3政策

すこやかな
発展を続ける

おだやかな
暮らしを守る

のびやかな
人生を歩める

一般質問に

登壇し

市政に提言

市制施行110周年に向けて

<質問した経緯>

少子高齢化、人口減少など取巻く社会環境が大きく変化する中、来年は市制施行110周年を迎える。厳しい財政状況にあるが、周年事業を通じ、**次世代の人達のためにも、明るい未来を描き市民に夢を与えられる取組**に繋げるための、本市の考えを問う。

■ 現在進めている挑戦的な事業について伺う。

人口減少時代を迎えるにあたり、市民デジタルプラットフォーム構想を今後推進し、サービスの自動化や無人化により確保される余力をもって、よりきめ細かなサービスへと発展していく未来を描いている。

■ 周年キャラクター「ピーコ」の活用について伺う。

岡崎市制70周年記念博覧会「葵博」において、70年後(2056年)の姿を**手塚治虫氏と当時の職員**が描きました。その当時のキャラクター「ピーコ」は、さらなる発展に向けての一步を踏み出すきっかけとして活用したい。

手塚プロダクション
「岡崎の70年後」
サイト



手塚プロダクション
「ピーコ」サイト



■ 新しい岡崎に向けた未来への展望について伺う。

未来を考えると重要と思うのは、その時代の変化を柔軟に取り入れ、時代が変わっても、市民の幸せや豊かさを常に願うこと。これまで以上に、コンテンツ力と、ブランド力を強化していくことが重要と考える。

将来の展望を描き夢と希望が持てる取組に期待

防災について

<質問した経緯>

国は、令和6年能登半島地震で得た教訓を生かし、防災基本計画の修正を行い、避難所運営に関するガイドラインを改定。今後、各自治体において、**「災害関連死」を防ぐ**ため、避難所の居住空間や衛生環境に関し、人道支援の基本原則である国際基準**「スフィア基準」**を満たす取組を進める。そこで、本市の状況を確認する。

防災基本計画
改定概要



防災基本計画



■ 居住空間最低3.5㎡/人の確保について伺う。

公共施設への避難者は約3.4万人を想定。本市の避難所として利用可能合計床面積は約12万㎡であり、3.42万人対応可能。結果、**基準を満たす状況**にある。

■ 避難時猛暑対策としての車中泊活用を伺う。

プライバシーの確保や暑さ対策といった利点もあり、車中泊を選択する避難者への情報提供の充実や健康管理に関する支援策を検討し、**多様な避難形態に対応できる支援体制の強化**に努める。

■ 広域連携・応援体制確立の考えについて伺う。

今年度から県は、応急対策職員派遣制度のアクションプラン実施要領の作成に着手、今後示される指針に沿って、広域連携体制の一層の充実を図っていく。

様々な環境変化を柔軟に対応し早期復旧へ期待

引き続き「岡崎に住んで 本当に良かった」と思って頂けるように取組みます！！

令和6年度決算審査について

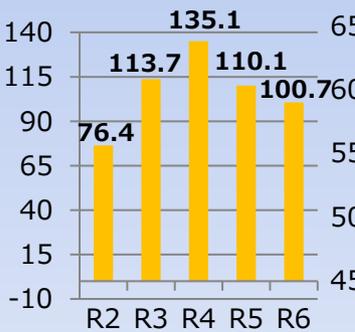
■決算審査概要

項目	歳入	歳出	純剰余金及び利益
一般会計	1,577億9,876万円	1,485億 4,257万円	64億5,933万円
特別（12）会計	707億9,679万円	699億7,309万円	7億9,783万円
病院事業会計	266億9,876万円	275億1,271万円	▲8億1,395万円
水道事業会計	74億6,249万円	69億9,584万円	4億6,665万円
下水道事業会計	95億 954万円	96億6,288万円	▲1億5,334万円

<財政状況の評価>

財政指標：プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは、市債の発行に頼らず、その年の歳入で市民生活に必要な支出がまかなえているのかを確認する指標で、財政健全化の目安の一つ。

■プライマリーバランス（億円）



■市債残高（億円）



■一般会計

- ・経常収支比率は、93.1%(望ましい範囲70~80%)と**要注意**
- ・財政力指数は1.00（引き続き、**不交付団体**となる）
- ・市債残額は、7億円減額（残高は左図参照）
- ・財政調整基金は、年度末残高90.8億円（前年度比23億円**減**）。**14年ぶり**に目標残高100億円を下回る、**厳しい状況**

■企業会計

- ・病院は、入院・外来収益は増収。しかし、新型コロナ関連補助金が皆減と給与費・材料費の増加により結果**赤字**となる。
- ・水道は、給水収益が減少。R7より水道料金改定の効果に期待
- ・下水道は、施設老朽化対応による借金返済の影響で**赤字**

弾力性に要注意！ 市民が安心して安全に住み続けられるように持続的な健全財政のまちづくりに注視する

トピックス

将来都市構造検討調査について

【概要】補正額：114.4万円

中島地区において、地域が主体となり広域交流機能を有する商業を主体としたまちづくりの検討がされ、国道23号明豊道路全線開通もあり、令和7年1月に県の基準も見直されまちづくりが可能となる。そのため、手続きに必要な都市計画に関する協議に必要な図面の一部を作成するためのもの

■都市計画マスタープラン（改定案）



周辺の環境変化に注視し 本市南部の賑わい創出に期待

中央総合公園体育館改修調査について

【概要】補正額：700万円

スポーツツーリズムの推進を図るため、企業版ふるさと納税(株)ジェイテクト殿寄付)を活用し、B・SVリーグのホームアリーナ基準を満たす必要な手法、条件、費用等改修調査をするため

項目	Bリーグ・SVリーグ基準(※)	岡崎中央総合公園体育館
入場可能数	5,000席以上	4,836席 固定席 2,535席 移動収納席 2,301席
客席	全ての席が、背もたれ付きの個席	移動収納席は長椅子・背もたれなし
その他設備	スイート、ラウンジの設置 (隔離された飲食・談話スペース)	スイート、ラウンジの設置なし

※Bリーグは2024年～、SVリーグは2030年～

要注視: 基準適合有無はスポーツによる地域活性化の分岐点

公の施設使用料額の改定について

【概要】市民会館を含めた21施設の使用料が改正される。理由は、施設維持関連費と民間との均衡などの市場性や利用者の必需性から受益者負担の適正化を図るため

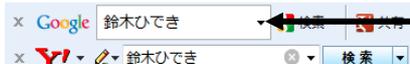
利用者目線に対し財政負担健全化の進め方に注視する

編集後記

過去の市政レポートについては、下記ドメインまたはQRコードを読みこんでいただき内容のご確認をお願い致します。

<ホームページのドメイン>

http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/



「鈴木 ひでき」検索でも見れます！！

<QRコード>



<過去の掲載内容>

- ・過去の一般質問の想い
- ・本市の財政状況
- ・年度毎の主な施策

市政の
話題満載！

